



▲錦江湾クリーンアップ作戦(6月30日)で市内4か所の海岸は見ちがえるほどきれいになりました(参加者約1,800人)

かごしま あいら 市議会だより

No.9 6月定例会
平成24年7月31日発行

クイズ

正解は蒲生

20



観光ボランティアの活動

19



22人市政を問う

8

新しい
議会構成決まる

6

地域コミュニティ活動と災害復旧費

補正額 **2495** 万円



▲ たくさん入れよう！福祉運動会

6月定例会は、6月14日から7月5日までの22日間の会期で開かれました。

条例改正5件のほか一般会計補正予算、財産取得、請願2件、陳情3件の議案を審査しました。請願1件を趣旨採択、陳情1件を不採択とし、残り全ての議案を原案のとおり可決しました。

今回は、2495万円を追加し、補正後の予算総額は262億5010万6千円となりました。内容は、4地域のコミュニティ助成事業補助金と、蒲生地域の防災行政無線の屋外拡声器の移設経費、および豪雨により発生した災害復旧費です。なお、県支出金2430万円と宝くじ社会貢献広報事業の補助金1010万円の交付決定を受けて、財源の組み替えを行い、市の一般財源と市債が減額になりました。



▲ 錦江湾クリーンアップ協働作業

補正

みんなで協働して 楽しく・安心して暮らせる地域

今回の一般会計補正額は2495万円で、地域コミュニティ活動支援費と大雨を伴った台風5号等による災害復旧費が主なものです。

あじさいロードを
美しく育てる会

250万円

始良地区の重富を流れる「思川」は、国立公園に指定された重富海水浴場へ流れています。

地域の23自治会の有志で構成する、「思川水系美化浄化対策委員会（あじさいロードを美しく育てる会）」に、刈払機など購入補助金250万円が助成されます。

質疑 補助財源を示せ。
答弁 宝くじの社会貢献広報事業である。

自主防災組織の
活動支援190万円

自主防災組織を立ち上げて、積極的に活動している始良地区の松原上自治会は、戸数1409戸、会員数3936人のマンモス自治会です。

地域防災活動を支援するため、発電機、車イスなどの購入費190万円が助成されます。

おはつまんさあ
浜下り神輿購入費

240万円

始良地区の帖佐小学校の奥に、「帖佐八幡神社（おはつまんさあ）」があります。

帖佐八幡神社保存会は、毎年秋に伝統行事の「浜下り」を実施し、陣羽織・陣笠・甲冑のいでたちで、八幡神社から重富海水浴場近くにある「御門神社」まで行列します。

神輿購入費等に240万円が助成されます。



▲ 思川に美しく咲いたあじさい

防災無線の拡声器
移設費200万円

蒲生地区の防災無線屋外拡声器の移設費200万円。

質疑 移設の場所と内容を示せ。

答弁 川東中自治会・後自治会・上自治会の一部と、鶴木原団地を合わせて、約260世帯の屋外拡声器を民地に設置していた。

土地が売買されて、新たな地主から家を新築するため、撤去の要請があった。

移転先は現在地から約100m離れ、市が所有する法寿寺墓地である。

災害復旧費

1218万円

今年も梅雨に入ってから降り続き、始良市でも大雨・洪水等の警報が頻りに発令されました。

- ① 加治木町小山田の毛上墓地25万5千円
- ② 耕地災害35件992万5千円
- ③ 林道災害4件100万円
- ④ 市道災害29件100万円

災害の内容は以下のとおりです。
早急な復旧が必要です。

条例

部分林の配分率統一

造林者の収益割合が高くなります

市有林に住民が植林してきた部分林。木材価格の低迷により伐採が進んでいない現状にあります。また、旧始良町・蒲生町では造林者と町との収益の配分に違いがありました。



▲豊かな山林に恵まれる始良市 林業の再生、活性化が期待される

これを市として統一すると共に、造林者の育林意欲を高め、林業の活性化を図るべく、造林者の収益分収割合を高くすることにしました。質疑、討論の末、賛成多数で可決しました。

討論

反対 分収の算定基準を記載すべきである。
賛成 林業活性化には造林者の収益を高める必要がある。

外国人も住民基本台帳に登録されます

住民基本台帳法の一部が改正され、外国人登録法が廃止されました。これに伴い、印鑑登録および証明に関する条例、手数料条例及び移住定住促進条例の一部が次のように改正されました。

外国人（133人5月末現在）は住民基本台帳に登録がなく、身分証明に外国人の登録原票記載事項証明が必要でした。今後は、外国人も住民基本台帳に登録され、住民票が証明書となります。

3件
1件
1件

採択

趣旨採択

不採択

始良市西餅田の「地蔵橋踏切」の拡幅を求める請願

採 択

提出者 福永 一 聲
紹介議員 福井 義一

趣旨 始良市西餅田パワーズ近くのJR日豊本線「地蔵橋踏切」は、幅員5.1mである。鉄道線路に対して斜めに通過しているため、実際の幅員より狭く感じて極めて危険な状況である。通勤・通学時間帯には人と車が交錯して極めて危険な状況にあり、加え

て遮断機が下りると一時的に渋滞となり、列車が通過後に車両が双方から無理に進入了ら場合は、脱輪する可能性もある。つきましては、「地蔵橋踏切」の幅員を7.0mに拡幅していただきたく、1695人の署名を添えて要望する。
審査結果 本請願を採択。



▲狭くて危険な地蔵橋踏切

高規格救急車蒲生に配備

2856万円

これにより始良市内の高規格救急車は4台体制となります。安心・安全のまちづくりがさらに進みます。



救急隊員が応急処置に必要な資材や機材を積載した高規格救急自動車を購入し、蒲生分遣所に配備します。

質疑 何社が入札に参加したのか。それぞれの入札額を示せ。
答弁 鹿児島トヨタ自動車と鹿児島日産自動車を指名して入札を行い、入札額はトヨタが2856万円、日産が3069万4500円である。

請願と陳情 5件を審査

行政活動は法優位性に関する陳情

不採択

提出者 鎌田 務

趣旨 民法第695条および地方公務員法の服務職務上の命令に従う義務、個人情報保護の管理、民法の権利など、市は、法を守ることである。

本陳情の発端は、土地の境界表示である。この土地は、前所有者が平成3年に境界確定を行ったが、境界表示を現地に残さなかった。

陳情者は、平成17年に

土地の境界確定を申請したが、現法では道路所有者と隣接者の同意が必要であり、隣接者の同意が得られず、境界確定ができていない。

審査結果 陳情者の初期の目的が多岐にわたって進行・発展しており、隣接者の同意等は民事に関するため、議会の権限に属さない事項であり、不採択とした。

「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の早期制定を求める陳情

採 択

提出者 南 育子
外1人

趣旨 我が国では、「精神疾患」が国民の生命と健康を脅かす三大疾病のひとつとなっている。我が国の「精神疾患対策」、いわゆる「こころの健康対策」の位置づけは、他の先進国に比べて

著しく低く、取組が大幅に遅れている。現在うつ病などの精神疾患患者数は、全国で300万人を超えており、主要疾患(ガン・脳梗塞等)を上回る最大の患者数で年間自殺者3万人を

超えて先進国で最悪の状況になっている。精神医療改革、精神保健改革、家族支援を軸として、国民すべてを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する「ここ

ろの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求める。**審査結果** 議会は採択して、国の関係機関に意見書を送付する。

公園設置に関する陳情

趣旨採択

提出者 迫田 正則
外7人

趣旨 岩原地域住民が利用していた公園が神社建設のため利用できなくなった。西岩原住宅の建て替えに伴う公園設置を求める。**審査結果** 市営西岩原住宅は、27・28年度建設予定

であり、当分の間は行政財産使用許可で対応し、公園設置は、建て替え事業で検討すべきである。公園設置の必要性の趣旨は採択である。よって**趣旨採択**とした。



▲市営西岩原住宅立替予定地(ここに公園の設置を)

少人数学級の推進等定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元を要望

採 択

提出者 山下 秀和
紹介議員 本村 良治

趣旨 少人数学級推進のため、制度の拡充。教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の

1に復元すること。全国どこにいても教育の機会均等を保障するため、複式学級の解消を図ること。**審査結果** 本請願を採択し、国の関係機関に意見書を送付する。

議会構成 決まる

議長に玉利道満
副議長に湯元秀誠



議長 玉利道満
みちまろ



副議長 湯元秀誠
ひでのぶ

就任のあいさつ

議長 玉利道満

始良市が誕生し2年が経過しました。これまでに総合計画や行政改革大綱など、始良市の運営の基本となる各種の計画が策定され、いよいよ実施の段階になってきました。議会においても市民の負託に応える議会の実現のため、議会基本条例を制定しました。内容として、例えば議会報告会などを通じて、市民と議員が自由な意見をかわす中で市民の声をくみ取り、議員の質疑・質問に政策

提言として繋いでいくこと、広聴活動を充実し、市民にわかりやすい開かれた議会を実現していくことなどです。

また、行財政の運営が総合計画に基づいて適正に、公平になされているかについて、厳正にチェックしてまいります。

議会構成も新たにになり、課題の解決に全員で努力いたします。皆様方からのご提言、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

議会運営委員会

◎は委員長
○は副委員長

議会の運営や活動のあり方の問題点をとらえて調査研究し、より適正円滑な議会運営を目的に、副議長および各常任委員長等で構成しています。

- 谷口 義文 森 弘道
- 湯川 逸郎 湯元 秀誠
- 上村 親 ◎ 湯元 隆男
- 湯之原 一郎 ○ 萩原 哲郎
- 東馬場 弘

総務常任委員会

総務部（総務課・財政課・税務課・危機管理室等）、行政改革推進室、企画部（企画政策課・商工観光課・情報政策課）、議事事務局、選挙管理委員会、会計管理部、消防本部の調査、審査をする委員会です。

- 小山田 邦弘 河東 律子
- 東馬場 弘 ◎ 上村 親
- 田口 幸一 ○ 堂森 忠夫
- 出水 昭彦



市民福祉常任委員会



市民生活部（市民課・生活環境課・保険年金課・環境施設課・健康増進課・北山診療所）、福祉部（社会福祉課・児童福祉課・長寿・障害福祉課）の調査、審査をする委員会です。

竹下日出志 兼田 勝久
 ○安田 久 法元 隆男
 神村 次郎 ◎森 弘道
 里山 和子

産業文教常任委員会



農林水産部（農政課・林務水産課・耕地課、農業委員会、教育部（教育総務課・保健体育課・学校教育課・図書館・社会教育課）の調査、審査をする委員会です。

川原林 晃^{ひび} 有馬 研一
 谷口 義文 ○堀 広子
 隈元 康哉 ◎湯之原 一郎
 新福 愛子

建設水道常任委員会



工事監査部、建設部（土木課・建築住宅課・都市計画課・用地課・区画整理課）、水道事業部（管理課・施設課）の調査、審査をする委員会です。

湯元 秀誠 笹井 義一
 萩原 哲郎 ○和田 里志
 森川 和美 ◎湯川 逸郎
 本村 良治

議会改革推進特別委員会

市民の負託にこたえ、市民が開かれた、市民が参加できる市議会を実現することを目的として制定した、議会基本条例に規定する議会改革の実現

を旨とするため、議長を除く28人の全議員で構成します。
 委員長 出水昭彦
 副委員長 法元隆男

議員定数等調査特別委員会

議会および議員が本来の役割を精査し、議会改革を総合的かつ計画的に推進する。また議員定数の適正化を専門的に調査・

研究を行う。
 議長を除く28人の全議員で構成します。
 委員長 法元隆男
 副委員長 上村 親

固定資産評価委員に鎌田一典氏を選任



鎌田一典さん

鎌田一典氏（59歳宮島町）を選任することに同意しました。任期は25年5月までです。

前委員長の長谷川栄氏がご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

固定資産税 評価替えて税額が下がる理由

市長／激変緩和措置として 徐々に是正



和田里志議員

和田 今年度は3年に一度の評価替えの年である。家屋は毎年古くなり、地価は下がっているのに、税額が下がらないのはなぜか。

市長 土地は平成6年度から全国一律に公示価格の7割を目途とする評価替えが行われた。



▲地価の値下がりが続く宮島町付近

価格が上昇した場合であっても、激変緩和措置として徐々に是正する負担調整措置が講じられており、地域によっては上昇する事例も出ている。

新規イベント開催

市長／(仮称)「九州ご当地グルメフェアIN始良」を予定

和田 各種イベントの継続性と新規イベントの取り組みを示せ。

市長 各種イベントは、ほとんどが旧町時代を踏襲して実施されているが、様々な観点から検討していく。

新規イベントは、本市

問う 一般質問



湯川逸郎議員

ごみ処理費用

23年度収集運搬経費

市長／1億8148万4千円

湯川 前年度と比較した平成23年度の資源物の収集量、収集運搬経費および有価物の処分売却益の状況を具体的に示せ。

市長 資源物の収集量は前年と比較し、131トン減少した。具体的には、ビン類12トン、紙類105トンである。

収集運搬経費は、可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・資源物の合計で、1億8148万4千円である。資源物の売却益は、4762万1千円である。

○その他の質問

○少子化対策

スマートインターチェンジと周辺道路整備計画
市長／地区協議会を経て示す

湯川 基本構想の西餅田地域の特性を活かしたまちづくりで、スマートインターチェンジと周辺道路整備計画を示せ。

市長 スマートインターチェンジについては、現在、国土交通省に提出する申請書や計画書を作成中である。

周辺道路の整備計画は、地区協議会を経て、接続箇所の同意が得られたら、具体的に示していく。



▲負担にならない改善を求める

墓地管理

原材料を見直せ

市長／現時点の拡大はない



森 弘道議員

森 墓地管理の原材料支給に砕石、手すり、ブロック等を対象にできないか。組合員も高齢化し営

利目的の団体ではないので福祉的な事業として見直しはできないか。
市長 現在は生コン、排水の側溝が対象であり、砕石、手すり等は、災害復旧に伴う資材であれば対象となる。
公益性を考慮して原材料を支給しており、現時点での拡大は考えていない。



▲勾配で手すりの欲しい北山中甑墓の参道

市政を

22人が

部分林分収割合を見直せ

市長／条例改正を今議会に上程

森 部分林は戦後植林の奨励により貴重な財産であったが、近年木材価格の低迷で関係者の悩みは大きい。分収の割合を見直す考えはないか。
市長 造林者による適切な部分林整備の推進と地域林業の活性化を図るため、造林者に有利な収益分収割合に変更し、部分林条例の改正議案を今議会に上程した。

その他の質問

- (仮称)松原小学校建設に地元産木材
- 納屋町く鍋倉間高速方面歩道の安全柵

資源・危険物

新始良方式

市長／23年に種類と収集方法統一化を図った



田口幸一議員

田口 ①いつから、どのような方式になるのか。
②ステーションはどのようになるのか。
③還元金はどのようになるのか。
市長 ①平成23年度資源物の種類と収集方法の統一化を図った。
具体的には、缶類、紙類、その他プラスチックの種類を統一し、コンテナ・ネット方式による収集の統一を実施した。
②資源物ステーションのスペースの確保が必要となるため、移転も含め、自治会の意向を踏まえ、衛生協会および3地区自



▲雨の中みなさんの協力できちんと分別された資源物

治組織の代表者と十分協議する。
③始良地区の還元金は、本年度中に計量廃止を実施し、急激な変化は避け、公益性を考慮して現在3年間の経過措置を設ける。

その他の質問

- 船津の岡のストックヤード
- 人工透析と医療費
- 歯周病と糖尿病
- 市道仮屋園線の工事
- 各市税、市営住宅の家賃の平成23年度決算見込み

循環型社会

し尿・汚泥の堆肥化

市長／今後研究する



神村次郎議員

神村 あいらクリーンセンターから発生する、し尿・浄化槽汚泥と剪定枝葉・伐採木等をチップ化したものを、堆肥化する事業は取り組めないか。
市長 脱水し焼却処理した汚泥は、年に226トンあり最終処分場に搬出している。

堆肥化に向けては、コスト、外部委託する場合の手続き、需要と供給のバランス等の課題がある。循環型社会への移行は喫緊の課題でもあり研究する。

くも合戦大会存続の方策 市長／存続に向け保存会に協力

神村 近年コガネグモが減少し採集が困難である。このままでは、大会の開催も懸念され、市としても存続の方策を検討すべきではないか。



▲ 始良市を全国に宣伝するくも合戦

市長 コガネグモの減少と同時に後継者の問題もある。

くも合戦は、文化財であり、市を全国的に宣伝できる貴重な観光資源である。観光協会、保存会等と研究会を立ち上げ存続のために協力する。

その他の質問 ○市職員及び学校職員の労働安全衛生

交通弱者対策

市民の意向を調査

市長／実施したい



笹井義一議員

笹井 運動免許証返納者、介護認定を得ていない高齢者等、交通弱者への対応について、市長の考えを問う。

その他の質問 ○街路森山線の開設時期と山野踏切との関連

笹井 私が言いたいことは、市民がどの地域でどのような支援策（方法）をどの程度の人が求めているか、把握する必要があるということである。行政は調査票を作り、自治会に依頼する。市民は記入して返すことで、

市長 中山間地域の循環バスの運行は改善された都市部では南国交通が運行しているが、細やかな路線になっていない。
JR日豊本線以南の地域は、いわさきバスが路線を持つているので、市役所・駅を経由する運行を求める。



▲ 待たれる街路森山線の踏切開設

人件費

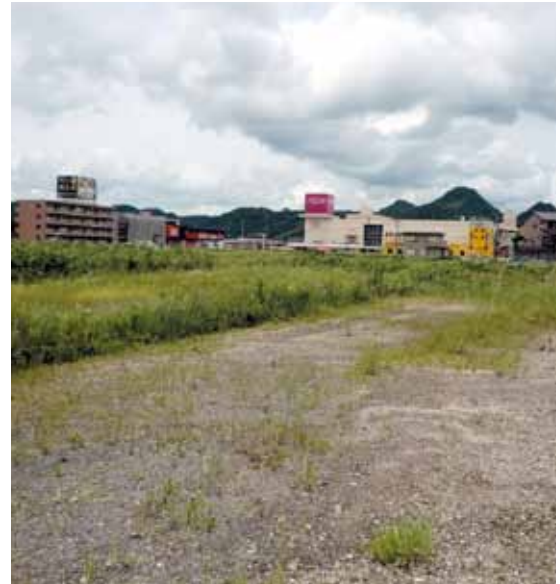
旧3町の給与体系格差

市長／現在調整中



森川和美議員

森川 給与について、旧3町時の状況からどのよう
に調整したか。また、格差
は生じていないか。さらに、
人件費抑制をどう考えるか。
市長 旧3町間で新規採用
時の初任給格付けについて、
差異のあった部分の調整を
行っている。



▲営業スタートはいつか（イオンタウン）

人件費抑制については、国の
制度および人事院勧告に基づき、
管理職および55歳以上の昇給抑制や
管理職の給与減額等、抑制措
置を講じている。

イオンタウン誘致

市長／事業用定期借地権等
設定は予約契約

森川 イオンタウン株式
会社の大型店誘致、進出が
決まった。

期間を定めて土地を貸す
内容であるが、定期借地協
定書の内容を示せ。
市長 始良市土地開発公

社がイオンタウン（株）と
取り交わしている事業用定期
借地権等設定の契約は、
予約契約である。

今後、借地借家法により、
本契約に向けて両者で協議
する。

その他の質問

○職員
の勤務実態

市道中野線

拡張の進捗状況

市長／実施計画に基づき
施工



東馬場 弘議員

東馬場 市道中野線の拡張は
地域住民の願いが強い。進
捗状況を示せ。

市長 平成23年度から約250
m区間の道路改良を行うこと
として実施設計を行った。

用地取得が完了したら、
実施計画に基づき、改良工
事を施工する。

小麦の普及拡大

市長／生産拡大に取り組み

東馬場 本市でも水稲の裏作
や遊休農地解消など、小麦の
普及拡大の取り組みの考え
方を示せ。



▲ 地域住民の願いが強い市道中野線の拡張

市長 小麦の生産は、収穫
時の天候不順、価格の低迷
などの要因により、生産
拡大が進まない状況にある。
今後、水稲の裏作や遊
休農地解消の手法として

国の制度等も活用しながら、
生産拡大に取り組む。

その他の質問

○県産小麦粉を使用した給食
パンへの取り組み
○第3次実施計画での（仮称）
岩原線の街路計画

循環型社会

し尿・汚泥の堆肥化

市長／今後研究する



神村次郎議員

神村 あいらクリーンセンターから発生する、し尿・浄化槽汚泥と剪定枝葉・伐採木等をチップ化したものを、堆肥化する事業は取り組めないか。
市長 脱水し焼却処理した汚泥は、年に226トンあり最終処分場に搬出している。



▲始良市を全国に宣伝するくも合戦

堆肥化に向けては、コスト、外部委託する場合の手続き、需要と供給のバランス等の課題がある。循環型社会への移行は喫緊の課題でもあり研究する。

くも合戦大会存続の方策
市長／存続に向け保存会に協力

神村 近年コガネグモが減少し採集が困難である。このままでは、大会の開催も懸念され、市としても存続の方策を検討すべきではないか。

市長 コガネグモの減少と同時に後継者の問題もある。

くも合戦は、文化財であり、市を全国的に宣伝できる貴重な観光資源である。

観光協会、保存会等と研究会を立ち上げ存続のために協力する。

その他の質問
○市職員及び学校職員の労働安全衛生

交通弱者対策

市民の意向を調査

市長／実施したい



笹井義一議員

笹井 私が言いたいことは、市民がどの地域でどのような支援策（方法）をどの程度の人が求めているか、把握する必要があるということである。行政は調査票を作り、自治会に依頼する。市民は記入して返すことで、

地域ごとの意向が把握できる。
このことが、公・共・私の協働であると考え、方法論は次の段階であると思うがどうか。
市長 市民の意向を知ることが必要と思われるので、実施したい。

その他の質問
○街路森山線の開設時期と山野踏切との関連

笹井 運転免許証返納者、介護認定を得ていない高齢者等、交通弱者への対応について、市長の考えを問う。
市長 中山間地域の循環バスの運行は改善された。都市部では南国交通が運行しているが、細やかな路線になっていない。
JR日豊本線以南の地域は、いわさきバスが路線権を持っているので、市役所・駅を経由する運行を求める。



▲待たれる街路森山線の踏切開設

西始良校区

福祉施設の設置

市長／介護保険等運営推進協議会で審査



萩原哲郎議員

萩原 西始良校区に、高齢者の介護サービスに繋がる福祉施設の設置を多くの住民が望んでいる。行政として協力できないか。
市長 本年度、始良西圏域で、地域密着型介護サービスのグループホーム運営事業者の選定を行う計画である。
市の介護保険等推進協議会の審査・評価の結果をもとに、市の内示を行って工事着工し、平成25年4月に運営開始の予定である。

太陽光パネル補助制度

市長／事業化に向け制度設計

萩原 自然にやさしい太陽光パネルの補助制度を実施する考えはないか。

市長 太陽光発電施設に対する助成制度は県及び10市4町で実施している。



▲西始良校区に高齢者福祉施設が必要

本市としても第1次総合計画の重点プロジェクトにこの施策を掲載しており、今後第3次実施計画の中で事業化に向けて制度設計をしていく。

その他の質問

- 船津公園
- 始良ニュータウン近辺の道路改善対策

課題と方向性

市長／統一内容へ調整

配食サービス



河東律子議員

河東 始良市は旧3町とも配食サービスを行っており、合併3年目に再編するとなっている。
①旧3町の配食サービスの大きな違いは何か。
②再編に当たった課題と方向性を示せ。



▲支援食など気配りをして配食準備 (始良高齢者福祉センター)

市長 ①旧3町の大きな違い
・加治木地区 1日2食
・始良地区 普通食の他に「ぎざみ食」「減塩食」等の支援食
・蒲生地区 1日1食
利用者負担金も旧町の所得区分に基づいて決定しているため、それぞれの金額が異なる。
②再編に当たった課題
1日の配食回数、利用者負担金、配食内容などの事業内容を統一することである。

委託事業者と協議を進めており、その後は、市内全域での同一内容による事業実施に向けて、順次調整を図っていく。
その他の質問
○健康寿命を延ばす方策

落石対策

危険箇所の対策

市長／点検や事業導入を検討



出水昭彦議員

出水 先日、畜産共進所下手で約1tの巨岩が滑落した。この箇所以外でも人的被害が出ないように、抜本的対策を講ぜよ。
市長 市内に同様な箇所が15箇所あり、危険箇所の点検や事業導入の検討を行っている。
未改良地であれば道路改良を含んだ対策を検討するが、それ以外は通行止めなどの交通規制で対処し、取り入れられる事業を考慮していきたい。

蒲生支所前の交通安全対策
市長／反射板など工夫する

出水 蒲生総合支所前の交差点で交通事故が多い。それはガードパイプの色が暗い事も一因ではないか。見やすくできないか。

市長 この周辺は旧蒲生町で観光振興策として景観整備に取り組んだ。歩道の舗装や縁石、防護柵を景観に配慮した。県の協力を得て事業を実施している。ガードパイプの色の変更はできないが、反射板を取り付けるなど対応を考えたい。



▲ガードパイプを見えやすく

通学路

緊急合同点検

教育長／8月末までに実施



竹下日出志議員

竹下 全国各地では、児童を襲った悲惨な事故が起き、通学路の安全確保を急がなければならぬ。学校と警察署など関係者と教職員、保護者などで通学路の合同点検を実施する考えはないか。
教育長 各小学校区では、小・中学校職員、PTA、



▲あいらっ子見守り隊の皆様に感謝

警察、スクールガードリーダー等で構成するスクールゾーン対策委員会を計画的に開催している。文部科学省主催の「通学路の緊急合同点検」を8月末までに実施する。

デマンドタクシーの導入
市長／先進地研修行い研究

竹下 高齢者が自由に病院や商店街に行く交通手段を確保するため、ドアからドアの送迎ができるデマンドタクシーを導入

する考えはないか。

市長 必要に応じてタクシーなどの車両が運行され、乗降場所も自宅近くに設けることができるなどの利点がある。

始良市交通システム検討委員会では、先進地研修も行い、研究する必要がある。

その他の質問

○経営感覚を持った行財政運営・市営駐車場

小中学校の防災

非構造部材の耐震点検

教育長／十分に調査・検討し対応していく



新福愛子議員

新福 小中学校の耐震化は、体育館や校舎といった構造体の改善が進んだ。反面、天井材・窓ガラス・照明器具・収納棚やピアノといった非構造部材の耐震化の遅れが指摘されている。

災害時に地域住民の命を守る防災拠点となる学

校の非構造部材の耐震点検をどのように推進するか。
教育長 東日本大震災の発生時に九段会館大ホール天井が崩落し、非構造部材の耐震化の必要性が認識された。今後、国の動向を注視し、県や近隣市町と連携を取りながら対応を検討していく。

熱中症計で予防対策を 市長／活用し注意を喚起する

新福 保健師や民生委員の高齢者宅への訪問に熱中症計を持参し、予防を呼びかけてはどうか。
市長 携帯できる熱中症計を準備し、予防と注意を喚起していく。

その他の質問

- ポリオ不活化ワクチン
- 風しん対策
- 女性トイレに擬音装置



▲熱中症の予防に熱中症計のご利用を

地元購買

ゴミ指定袋の入札

市長／地元業者へは入札参加の段階で配慮



湯元秀誠議員

湯元 市のゴミ指定袋の入札方法、参加数、入札条件を問う。地元購買の検討はなされたか。

市長 市内の1業者を含む3社の指名競争入札で実施した。販売店への直接配達が入札条件である。地元業者へは、入札参加の段階で配慮した。

湯元 地元企業は雇用、納税等で市の経済への貢献は大きい。地元企業を考慮した入札の仕組みを導入すべきではないか。
市長 地元企業の受注は市の活性化に繋がる観点から、市内業者育成を考慮し優先的に進めていく。

小水力発電の取り組み 市長／今後の動向を注視

湯元 「県小水力利用推進協議会」が、県内40か所の用水路等に小水力発電施設建設を発表した。本市にも設置されるか。市の今後の取組みを問う。

市長 市内の数か所が候補地に含まれている。小水力発電は有望な環境ビジネスであり、今後の動向を注視しながら取り組みたい。



▲自然エネルギー利用を積極的に（蒲生町白男水力発電所）

須崎用地

交通アクセスの整備

市長／円滑化を図る



法元隆男議員

法元 須崎用地の企業誘致は、ここにかけて順調に成果を上げています。近接の加音ホールを含め、課題は交通アクセスをどのように整備するかにかかっている。考えを問う。市長 現在の構想は、岩原本通り線の木田橋の拡幅を早急に実現し、その



▲拡幅予定の木田橋

後、都市計画街路として新設の（仮称）岩原線を設置するなどの対策により、当地域の交通アクセスの円滑化を図るための検討をしている。

医療費抑制策

市長／健康保持増進に努める

法元 医療費増大により国保税が値上げされることになった。今後、医療費抑制策にどのように取り組むか。

市長 高齢化により医療費はさらに増加していくと予測する。

特定検診や健康教室の充実を図り、レセプト点検、ジェネリック医薬品差額通知、重複・頻回受診者への健康相談等を実施しながら、医療費節減に努める。

その他の質問

○文化財等の整備

上村（仮称）松原小建設設計委託は、公募型プロポーザル方式でされたが、設計に伴う条件はあったのか。建設工事は、一括発注か分割発注にするのか。業者は、県内・県外業者を含むのか。教育長 5共同企業体から企画・技術提案書を求め、校舎、体育館、運動場など、一括した設計業務委託とした。条件として、省資源、省エネルギー、建設コスト・ランニングコストの低減、地場産業発展のた



上村 親議員

松原小建設

発注は市内業者へ

教育長／地元業者主体に発注

建設は、地元業者を主体に発注することを念頭に、市内業者が施工できる工区割による積算を条件に設けてある。

下請け業者についても、地元業者の活用をお願いしていく。
※公募型プロポーザル方式とは？
公共施設の企画立案の段階で、種々の条件を提示して、参加希望者に設計の取組方針等の提案書を作成提出してもらおう。それを総合的に評価して、設計者を決定する方法。



▲（仮称）松原小建設予定地周辺地図

太陽光発電

パネル設置に補助

市長／第3次実施計画の中で



里山和子議員

住宅リフォーム助成事業
市長／今後とも研究する

里山 曾於市、西之表市、出水市に始まり、今年度は鹿児島市や薩摩川内市でも住宅リフォーム助成

事業がスタートして大変な人気である。

来年度から急いで導入を検討できないか。

市長 本助成制度については、有効な方策であるとは考えている。

慎重な協議・検討が必要であり、本市の置かれた状況を踏まえて、優先すべき事業を十分考え、今後とも研究する。

その他の質問

○子育て支援

○30人学級の拡大

里山 太陽光発電パネル設置に補助を、県内でも10市で取り組まれており、本市でも検討できないか。また、小学校への設置も進めたらどうか。
市長 第1次総合計画の重点プロジェクトにこの施策を掲載しており、今後第3次実施計画（平成25年～27年度）の中で事業化に向けて、制度設計をする。

市内16の小学校に設置することについては、年次的に検討する。



▲太陽光発電パネルの設置補助を早く

進出企業建設地付近の整備

市長／計画を見極め対策を講ずる

道路拡幅



谷口義文議員

谷口 進出企業建設地付近は、道路幅の狭い所があり、今後は混雑も予想される。

道路拡幅等の計画を示せ。

市長 須崎用地付近では岩原本通線の木田橋の拡幅や、新設街路の対策が必要である。

イオンタウン株式会社
の進出予定地周辺の道路整備については、同会社の建設計画等を見極めながら対策を講ずる。

救急医療の在り方

市長／検討委員会を立ち上げる

谷口 救急医療の在り方、検討課題も含めての取り組みを示せ。

行政、消防、医師会との連携、話し合いはなされていくのか。

市長 課題として、夜間対応可能な医療機関を増やすことや、輪番医師に

よる救急対応を行うことなど、地域救急医療対策協議会で協議されている。本市においても、市内医療機関の代表、関係各課による救急医療に関する検討会を立ち上げ検討していく。

その他の質問

○医療費抑制

○むし歯予防



▲イオンタウン進出予定地周辺の道路拡幅を急げ

一体感醸成

国民文化祭を活かせ

市長／始良を束ね広める機会



小山田邦弘議員

小山田 市民の一体感に対する現状認識と、今後の醸成施策、特に国民文化祭のような社会的イベントの活用を問う。

市長 本市は環境的に一体感を生みやすく、昔から経済・文化交流等で人的一体感は育まれてきた。今後は、制度的統一や交流施策で一体感を高めてゆく。

国民文化祭は、本市を広く知らしめるチャンスと考える。どの部分を打ち出すか、今後関係部署と検討していく。

環境・観光政策の広域連携
市長／既存団体で深める

小山田 環境・観光政策における広域連携の現状と、広域的連合組織の設立を問う。

市長 今年2月に錦江湾奥会議設立されたほか、国立公園の利用促進を図るため、所在市町と県、環境省で組織する連絡会の設立準備をしている。これらの組織により防災観光・環境面における広域連携を深めていく。



▲始良市のマスコット「くすみん」 一体感を生み出す役割も担う

加治木地区でも日曜日給食を

市長／協議を進めている



堀 広子議員

堀 始良・蒲生地区では土日も配食サービスが行われているが、加治木地区では平日のみのサービスである。

始良市全体で、サービスを統一できないか。

市長 現在、3地区で事業内容、配食数の拡大等についてと、加治木地区

配食サービス

加治木地区でも日曜日給食を

市長／協議を進めている

の日曜日配食サービスも協議を進めている。

青年就農給付金の早期給付
市長／来年3月までプラン作成

堀 青年就農給付金制度の内容と、給付対象者は何人いるかを示せ。

市長 原則45歳未満、年間150万円給付、準備型は最長2年、経営開始型は5年間支給する。対象者は現在、11人である。



▲有機農業に取り組む新規就農者

堀 給付要件に「人・農地プラン」への位置づけが必要だが、プラン作成の日程はどうなるか。

市長 市内28の地域を順番に、7月からアンケート調査、地域説明会を行い、来年3月までにプランを作成する。

その他の質問
○本道原地域に水道整備



新しい観光地としての発信を

あいらびゅー号観光ボランティアガイド会長

藤井孝良さんに聞く

始良市が誕生して3年を迎えました。3町の良さを生かした一体感のあるまちづくりには、「観光」は、大きな役割を果たしています。

平成22年度から始まった「あいらびゅー号」の運行も、大きな成果をあげています。

観光を通じて始良の発展に寄与されている観光ボランティア。本日はあいらびゅー号観光ボランティア協会会長の藤井孝良さんにお話を伺いました。

「あいらびゅー号観光ボランティア協会」設立のきっかけは何ですか。

平成20年当時、かごしま探検の会代表理事の東川隆太郎先生が、県内各地で観光ボランティアガイドの設立に活動されていました。

旧始良町でも平成20年に商工林政課のガイド育成講座が計画され、24人が応募しました。

この講座を修了した者が基幹となり、21年4月協会を立ち上げました。

観光ボランティアに応募された動機は何ですか。

現在の会員は15人ですが、ほとんどが定年退職した人です。元銀行員・会社員・学校の先生等さまざまですが、みんな自己充実、人生を豊かに生きたい。それが、市の発展につながればとの思いがあります。

観光ボランティアをして感じることはありませんか。

始良町には多くの史跡があります。

一番は山田の凱旋門でしようか。日露戦争に従軍した兵士の無事な帰還を記念して建設されたものですが、全国的にも貴重なものです。

また、帖佐宇都一带は、稲荷神社（島津義弘居館跡）や宇都窯跡など1時間以内にもまれる史跡が多く残っています。

しかし、駐車場・トイレもなく、昨年のあいらびゅー号のコースに入れられませんでした。

やはりスポットの紹介だけでなく、お食事処や記念バッチ等の販売など観光と結びつけていく必要があるでしょう。



▲郷土への熱いおもいが伝わってきます。(インタビュー中の藤井さん)

最後にひとこと

今年3月に霧島錦江湾国立公園が誕生しましたが、新しい観光地としての発信が必要です。

「あいあいまっぷ」のお食事処との連携、インターネットでの掘り起こし等で、交流人口の拡大につながっていくと思えます。

私たちは年数回、地元の方々に参加していただき、まち歩きを計画しています。自分のまちを知っていた、たくさん知ってほしいです。



▲国立公園になった重富海岸でのガイド活動

り愛着が生まれ、朝のウォーキングも楽しさが増し、健康にもつながっていくと思います。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

私たちが自分のまちの歴史を知ることでもまちを愛する心も育まれ、まちの発展にもつながっていくのだと思うことでした。

(聞き手 河東・新堀)

クイズ

ここはどこ？



正解は **蒲生**
(ポケットパーク)

応募者数 55人

次回のクイズは9月定例会号

正解者5人に図書券
クイズに55人の応募があり、抽選の結果、次の5人のかたに図書券を贈りました。(敬称略)

- 若松小百合 (蒲生)
- 沖田真菜 (始良)
- 小山田丈志 (蒲生)
- 徳永和子 (始良)
- 中島都 (始良)

解答に添えられたご意見の一部(右欄)と、応募者の内訳(下欄)を掲載します。

年代	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	不明	計
男性	メール はがき	1 3		2						3 5
女性	メール はがき	6 3	2 1	2 5	3	2	1 8	1 7		16 26
不明									5	5
計	1	13	3	9	3	10	9	2	5	55

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回の開会は9月上旬予定

皆さまからのメッセージ

解答に添えられたメッセージを紹介します。
皆様の声を、今後の議会運営に役立たせていただきます。

○内容が難しい時もあるが、これからも読んでいきたい。(20代女性)

○毎回、全て読むように努めていますが、受け取らない家庭もあるようです。皆に読んで欲しい。(40代女性)

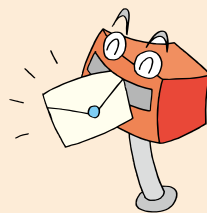
(40代女性)

○クイズは、とてもよい企画だと思う。一般質問の「その他の質問」は項目だけで残念。可能であればネット等を活用して情報を提供してほしい。(30代男性)

(30代男性)

○段、区切り、カラーを使い、見やすく、読みやすくなった。(50代女性)

(50代女性)



○どのような議題が上り、どのように決定しているかなど市政の動きが、よくわかる。(50代女性)

(50代女性)

○傍聴の仕方や日程などを詳しく紹介すれば、もっと若い方の参加が見込まれると思う。(30代女性)

(30代女性)

まわれると思う。(30代女性)

(30代女性)

○議会の様子がよくわかる。待機児童の問題を早く解消してほしい。(30代女性)

(30代女性)

○始良市になってからの発展している様子や、市営住宅の滞納金が多額であることに驚いた。(60代女性)

(60代女性)

○質問や記事にあった写真を工夫してあるなど、読みやすくなった。(60代女性)

(60代女性)

○広島から月1回、蒲生の実家に帰ってくるが、議会だよりを楽しみにしている。始良市がますます発展することを願う。(70代男性)

(70代男性)

○子どもでもわかるようなコーナーがあったらいいと思う。(10代女性)

(10代女性)

※たくさんのご意見とご感想、ありがとうございます。これからも、どんどんお寄せ下さい。お待ちしております。

これからの、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

暑い夏がやってきました。10%節電がいられていますが、節電は、私たちの生活を見直す良い機会ではないでしょうか。

大飯原発が再稼働しましたが、国はしっかりとしたエネルギー政策の道筋をつけるべきです。

新しい広報委員が決まり、今回、湯元・小山田両委員を新しく迎えました。

議会だよりNo.8から新企画「クイズ」欄を設けました。多数のご応募、ご意見、ありがとうございます。ご意見等を生かしながら、もっと解りやすい、読んでいただける「議会だより」づくりを努めます。

(河東)

編集・発行責任者
議長 玉利 道満

広報等調査特別委員会
委員長 河東 律子
副委員長 新福 愛子
委員 小山田 邦弘
委員 笹井 義一
委員 竹下 日出志
委員 安田 久
委員 湯之原 一郎
委員 湯元 秀誠